

## 英語教育における情報教育のガイドライン

### 【到達目標 1】

情報倫理の重要性を理解した上で、英語学修にICTを利用できる。

### 【到達度】

- 英語表現の検索、文献・資料の収集・理解にICTを利用できる。
- 英文の作成、編集、翻訳などにICTを利用できる。
- 音声・画像データなどを通じて効果的に発信するために、ICTを利用できる。
- 剽窃、盗用、発信・表現による文化摩擦などに配慮してICTを利用できる。

### 【教育内容・教育方法】

- ～ は、検索・文章作成・通信のツールなどを教え、演習などの授業を通じて情報倫理に配慮した情報の収集・整理、文章作成、発信などを指導し、体験させる。

### 【到達度確認の測定手段】

- ～ は、学修支援システムを利用し、自己評価、他者評価、小テストなどにより確認する。

### 【到達目標 2】

英語による多様なコミュニケーションに必要なICT利用法を理解し利用できる。

### 【到達度】

- 英語による効果的な発信を行うためにICTを利用できる。
- 複数の相手と協働して協議・交渉・意見交換するためにICTを利用できる。

### 【教育内容・教育方法】

- と は、電子メール、テレビ会議、学修支援システム、電子掲示板などの多様なツールの使い方を教え、演習を通じて、英語による発信や交渉・意見交換を体験させる。

### 【到達度確認の測定手段】

- と は、情報支援システムを利用し、他者評価、学修ポートフォリオ、小テストにより確認する。